

# 夢童

菅波 茂

9月26日。県生涯学習センター大研修室で、医療法人アスカ会、社会福祉法人遊々会そして特定非営利活動法人AMDAの3団体合同で、「ボランティア感謝の集い」を3時間にわたって開催した。計2500人のボランティアの半数が参加した。それぞれの団体のボランティアの人たちに對し、他団体の状況理解、ボランティア同士の交流と相互理解の推進を図ることが目的だった。3団体は岡山市橋津の同じ敷地内にあるにもかかわらず、ボランティア同士の交流は初めてだった。ほとんどのボランティアがその目的を、「自分の生きがいのため、自分の人生を充実させるため、自分の幸せのため」と自己紹介された。

1981年に設立した医療法人アスカ会は、「平津学区シ

ルバーコミュニケーション」ボランティアの活動が誇りである。平津学区の高齢者を「寝たきりにさせない、ぼけさせない」ことを目的とした、デイサービス事業だった。平津学区連合町内会、愛育委員会、婦人会などで構成された運営協議会のもとで、1000人の地域ボランティアが活動した。

全国的にも先進的な取り組みだったので、全国から取材や視察を受けた。85年に発足して15年間続いた。2000年に開始された介護保険の公的な在宅サービスの展開により、先進的な役割を終えて解散した。その後は介護老人保健施設「すこやか苑」の入所部門や通所リハビリ部門に、団体や個人ボランティアとして参加をいただいている。

1997年に設立した、社会福祉法人遊々会の運営するケアハウス「茶山亭」の地域交流スペースでは、「平津学区シルバーコミュニケーション」の流れを受けた愛育委員会を

## 「飛鳥健康村」構想

中心に、地域の方々が参加したボランティア団体「一宮白桃の会」が2001年から活動している。

1984年に発足したAMDAは、95年の阪神大震災被災者救援活動を契機に、岡山市橋津にある本部で多数の団体や個人ボランティアに様々な分野で活動していただいている。現状はボランティアなしには成り立たないといっても過言ではない。国内そして海外の災害被災者救援活動で、AMDAと医療法人アスカ会は連携している。国内では、12年前の阪神大震災、3年前の新潟県中越地震や今年の新潟県中越沖地震。海外では、数多くの災害救援活動に専門職を派遣している。医療法人アスカ会なくしてAMDAの発展はなかった。逆も真である。

来年1月1日、社会福祉法人遊々会が運営する、特別養護老人ホーム「こちよみ庵」と小規模多機能施設「ゆめ童」が開設する。医療法人アスカ会の運営する諸施設を加えれば、平均寿命世界一を誇る日本の光と影を支える健康保険と介護保険の元に運用されている、諸施設とソフトウェアが基本的に整備されることになる。世界に向かって「平均寿命世界一の謎」を発信できる複合施設群である。

「ボランティア感謝の集い」で、新しい構想を3団体のボランティアの人たちに紹介した。岡山、日本そして世界の命に貢献する「飛鳥健康村」構想である。それは医療法人アスカ会、社会福祉法人遊々会そしてAMDAの3団体連携である。国連経済社会理事會総合協議資格を認定されたAMDAが、「飛鳥健康村」の取り組みや実績を、国連あるいは国連諸機関で政策提言をすることが、至福の夢である。「飛鳥健康村」構想の実現にご理解とご協力をいただければ、至上の喜びである。

(AMDA代表)